

教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善に関する実践研究

徳島県教育委員会



とくしま教育の日

実践研究の具体的内容

2

1 研究授業・公開授業

- 県内の中高関係者への研究授業・公開授業
- 協議、指導助言



3 あわ(OUR)教育発表会

- 拠点校の成果発表
- テーマ:「中・高が連携して取り組む主体的な学びの実践」



2 高校と大学の教育内容接続のための情報交換会

- テーマ:主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～高大の実効ある連携～
- アクティブ・ラーニング 分科会での協議



4 県立総合教育センターでの研修

- 公立小・中・高・特別支援学校の教員を対象
- テーマ:「主体的・対話的で深い学び」



とくしま教育の日

実践研究の概要

1

● 拠点校

徳島県立川島中学校・高等学校

・併設型中高一貫校

・生徒数615名

研究内容

- 生徒の実態に応じた適切な言語活動による授業改善
- 中高一貫教育の特性を活かして学校全体で協働する指導体制の構築
- 地域との連携による多様な学びの場における言語活動の実践



- 県内の中学校、高等学校との連携支援
- 研修会、発表会等の様々な機会を通じた県内への普及



とくしま教育の日

実践研究の成果とその分析

3

「生徒の意識等に関わる調査」

- 「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う」

1年生

H28	59. 9%
H29	65. 3%

↑ 5. 4
ポイント

2年生

H28	67. 6%
H29	71. 1%

↑ 3. 5
ポイント

- 「授業の中で、わからないことがあったら、友人・先輩にたずねる」

1年生

H28	77. 8%
H29	78. 8%

↑ 1. 0
ポイント

2年生

H28	75. 7%
H29	77. 0%

↑ 1. 3
ポイント



とくしま教育の日

実践研究成果の活用方策

4

- 実践研究報告書を県内の中学校、高等学校等へ配布し、拠点校のホームページにも掲載し活用しやすくする。
- 「学力向上推進員研修会」「教育課程研究集会」等の機会に実践研究の成果を報告するとともに、積極的に広報する。
- 学校計画訪問において、研究授業及び研究会をとおして、拠点校の研究成果を、指導助言に活用し、学習・指導方法の改善を促進する。

※学力向上推進員研修会

県内全公立高等学校において、授業改善等による学力の向上を目指し、学力向上検討委員会を設置し、「学力向上プラン」を作成・実施している。その中心的な役割を担う学力向上推進員の研修を開催している。
①実態に合わせた学力の向上
②学校全体で組織的、計画的に実施取り組む
③PCDAサイクルの充実
を基本に「学力向上プラン」に沿った取組をお願いしている。



とくしま教育の日

拠点校における具体的な研究体制

6

- 「生徒の実態に応じた適切な言語活動による授業改善」
 - ①ホワイトボードを活用したペア・ワークやグループワークの授業への導入
 - ②国語、社会・地理歴史・公民、数学、理科を重点科目
 - ③生徒・教員対象のアンケート実施
 - ④手帳の活用
- 「中高一貫教育の特性を活かして学校全体で協働する指導体制の構築」
 - ①研究授業・公開授業後の授業研究会を中高合同で実施
 - ②中高一貫推進委員会を実施
 - ③アクティブ・ラーニング運営委員会を設置
- 「地域との連携による多様な学びの場における協働する指導体制の構築」
 - ①文化祭を地域に開放
 - ②支援学校の体育祭、文化祭にボランティアとして参加
 - ③市内の小学校への出前講座

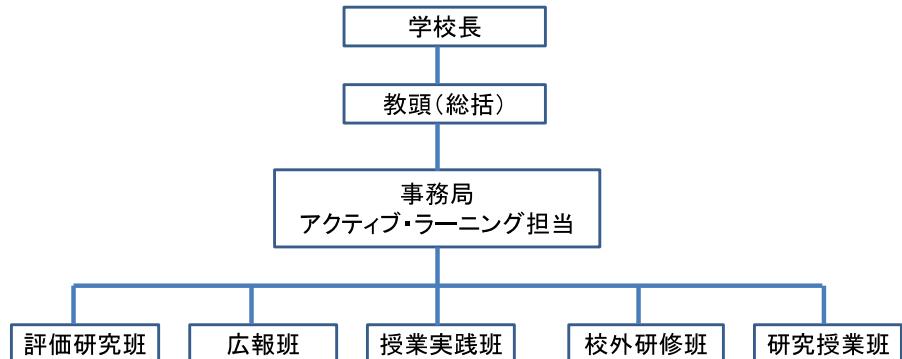


とくしま教育の日

拠点校における研究内容

5

徳島県立川島中学校・高等学校
アクティブ・ラーニング校内推進委員会



とくしま教育の日

拠点校におけるアンケート調査

7

- 拠点校におけるアンケート調査の実施
- アクティブ・ラーニングの効果を検証
 - 3回実施

アンケート内容

- 1 自分が興味関心を持っている分野について、積極的に調べ記録している。
- 2 自分が興味・関心を持っていない分野の情報についても、耳を傾けている。
- 3 普段、新聞を読んだり、ニュースを見たりしている。
- 4 収集した情報を比較し、要約(まとめる)することができている。
- 5 収集した情報を分析する(なぜそうなっているかを考える)ことができている
- 6 収集した情報をもとに予測立てることができる。



とくしま教育の日

- 7 疑問点を自分で調べるなどして、積極的に問題を解決しようとしている。
- 8 目標を設定したら、期限に間に合うように逆算して計画立てることができる。
- 9 自分の目標達成度を客観的に分析しなぜそうなっているかを考える),自己評価ができる。
- 10 目標達成後、新たな考え方や行動を起こし、さらにステップアップできるようにしている。
- 11 自分の考えを周囲の人々に適切に伝えることができる。
- 12 相手の意見をよく聞き、理解して自分とは異なる価値観を尊重することができる。
- 13 班の仲間とともに、与えられた課題解決のために、さまざまな視点から問題を見つけることができる。
- 14 課題解決に取り組むとき、自分の役割を見つけ行動できる。
- 15 班活動の中に、班の目標が達成できないとき、新しい提案をすることができる。

成果

- 全ての質問で肯定的答「思う」「やや思う」の割合が、5~15ポイント上昇
- 生徒主体の授業への転換による「主体的学び」の実現
- 生徒同士が協働して学ぶ機会の増加による、「対話的な学び」の実現
- 教員の意識の変容と授業改善・情報収集等への積極的な取組

課題

- 学んだ知識を関連付け新しい知識を生み出し、新たな学びを展開する「深い学び」への発展
- 自ら課題を発見して解決するという目標の実現
- ICTを活用したアクティブ・ラーニングへの取組
- 多面的・多角的評価の実現

